

報道関係者各位

2013年5月20日

IDC大塚家具 2015年に、女性管理職割合 30%へ

総合インテリア販売の株式会社大塚家具(本社:東京都江東区、代表取締役社長:大塚久美子)は、管理職(*)に占める女性の割合を2015年までに30%に引き上げることを目指します。

(*)店舗では次長・エキスパート以上、本社では課長補佐以上の役職者

当社では現在、全社員のうちの女性割合は31.8%(546名)で、役員(取締役・監査役)についてはすでに、それを超える33.1%(全9名中、3名)を女性が占めています。

消費者の家具購入プロセスでイニシアティブをとることの多い女性の視点を経営に活かすため、女性の活用を促進し、現在6.7%(13名)の女性管理職割合を役員・社員と同等の水準へ引き上げます。

女性管理職割合の引き上げの実現に向けて、短時間勤務管理職の登用などを進める一方、仕事と家庭を両立させながら、女性が安心して働き続けられるような環境づくりを推進する「人材多様化推進プロジェクト」を、5月15日(水)に発足させました。同プロジェクトでは、整備済みの育児休業・育児短時間勤務制度の運用見直しなども行う予定です。

当社は今後、女性に限らず若者や外国人など優秀な人材が積極的に活躍できる企業を目指してまいります。

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社大塚家具広報部

TEL:03-5530-5566 / FAX:03-5530-5567